

第5学年		国語			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ひみつの言葉を引き出そう	1	ひみつの言葉を引き出そう 1時間(話・聞①) ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ) ■友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話す。	【知・技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。(1)ア)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。(A(1)エ)	【態】すすんで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとしている。
かんがえるのって おもしろい	1	かんがえるのって おもしろい 1時間(読①) ◎詩を音読することができる。(知・技(1)ケ) ○詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ■音読して、想像したことを伝え合う。	【知・技】詩を音読している。(1)ケ)	【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	【態】すすんで詩を音読し、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
名前を使って、自己しょうかい	1	名前を使って、自己しょうかい 続けてみよう 1時間(書①) ○文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解することができる。(知・技(1)カ) ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)カ) ■自分を紹介する文章を書く。	【知・技】文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。(1)カ)	【思・判・表】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ)	【態】積極的に文章の構成や展開について理解し、これまでの学習をいかして自分を紹介する文章を書こうとしている。
銀色の裏地	5	銀色の裏地 5時間(読⑤) ◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ■印象に残ったことを伝え合う。 ☆友情、信頼や相互理解に関わる題材(道徳)	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	【態】粘り強く登場人物の相互関係や心情を捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことを伝え合おうとしている。
図書館を使いこなそう	1	図書館を使いこなそう 1時間(知・技①) ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ) ■本を探して、記録カードを書く。 ☆図書館で本を探す活動(図書館活用)	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。(3)オ)		【態】すすんで読書が自分の考えを広げることに関与することに気づき、これまでの学習をいかして本を探して、記録カードを書こうとしている。
漢字の成り立ち	2	漢字の成り立ち 2時間(知・技②) ◎漢字の由来、特質などについて理解することができる。(知・技(3)ウ)	【知・技】漢字の由来、特質などについて理解している。(3)ウ)		【態】すすんで漢字の由来、特質などに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
春の空	1	春の空 1時間(書①) ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ■春らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア)	【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って春らしいものや様子を文章に書こうとしている。

きいて、きいて、きいてみよう	6	きいて、きいて、きいてみよう 6時間（話・聞⑥） ◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表A(1)エ） ○話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。（知・技(1)イ） ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。（思・判・表A(1)ア） ■インタビューをし、報告する。 ☆インタビューを行い、報告する活動（社会、総合的な学習の時間） ☆インタビューの録音・録画（I C T活用）	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。（(1)イ） ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（(2)イ）	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。（A(1)エ）	【態】粘り強く話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもってインタビューをしたり、報告したりしようとしている。
見立てる	7	見立てる 言葉の意味が分かること 【情報】原因と結果 7時間（知・技①、読⑥） ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。（思・判・表C(1)ア） ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表C(1)オ） ■考えたことを伝え合う。 ☆外国語や異文化への興味をもち、理解する態度を養う題材（外国語、道徳、総合的な学習の時間）	【知・技】 ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。（C(1)ア） ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（C(1)オ）	【態】粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
敬語	2	敬語 2時間（知・技②） ◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。（知・技(1)キ） ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ☆礼儀や言葉遣いが、円滑な人とのつながりをつくることについて考える題材（道徳）	【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。（(1)キ）		【態】すすんで日常よく使われる敬語について理解し、学習課題に沿って使い慣れようとしている。
日常を十七音で	3	日常を十七音で 3時間（書③） ◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ◎俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ○俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けすることができる。（知・技(1)ウ） ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■俳句を作る。	【知・技】 ・俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けしている。（(1)ウ） ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク）	【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） ・「書くこと」において、俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えている。（B(1)オ）	【態】粘り強く構成や書き表し方などに着目して文言を整え、学習の見通しをもって俳句を作ろうとしている。
漢字の広場①	1	漢字の広場① 1時間（書①） ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）	【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ）	【態】すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。

古典の世界（一）	2	古典の世界（一） 2時間（知・技②） ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。（知・技(3)イ） ■古文を音読する。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材（道徳）	【知・技】 ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。（(3)イ）		【態】すすんで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って古文を音読しようとしている。
【情報】目的に応じて引用するとき	2	【情報】目的に応じて引用するとき 2時間（書②） ◎引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)エ） ○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ■引用カードを書く。 ☆レポート等を作成する際に、目的に応じて適切な引用を行う活動（理科、社会、総合的な学習の時間）	【知・技】情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。（(2)イ）	【思・判・表】「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)エ）	【態】すすんで目的に応じた引用のしかたを理解し、学習課題に沿って引用カードを書くとしている。
みんなが使いやすいデザイン	8	みんなが使いやすいデザイン 8時間（書⑧） ◎目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ■報告する文章を書く。 ☆よりよい社会や学校生活をつくろうと考える題材（道徳、総合的な学習の時間） ☆調べたことを報告する文章の書き方を工夫する活動（理科、社会、総合的な学習の時間） ☆インターネットによる情報収集（ICT活用）	【知・技】情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。（(2)イ）	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	【態】粘り強く目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習の見通しをもって報告する文章を書こうとしている。
同じ読み方の漢字	2	同じ読み方の漢字 2時間（知・技②） ◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	【知・技】第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）		【態】すすんで同じ読み方の漢字の使い分けに関心をもち、これまでの学習をいかしてそれらを理解しようとしている。
夏の夜	1	夏の夜 1時間（書①） ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ■夏らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材（道徳）	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア）	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。（B(1)ア）	【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って夏らしいものや様子を文章に書こうとしている。
作家で広げるわたしたちの読書 モモ	5	作家で広げるわたしたちの読書 モモ 5時間（読⑤） ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ■本の魅力を伝え合う。 ☆作家を意識して選んだ本を読む活動（図書館活用）	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。（(3)オ）	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ）	【態】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の魅力を伝え合おうとしている。

かぼちゃのつるが われは草なり	2	かぼちゃのつるが われは草なり 2時間（読②） ◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ○詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。（思・判・表C(1)エ） ■考えたことを伝え合う。	【知・技】比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク）	【思・判・表】「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（C(1)エ）	【態】すすんで比喩や反復などの表現の工夫に気づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
どちらを選びますか	2	どちらを選びますか 2時間（話・聞②） ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。（知・技(1)オ） ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。（思・判・表A(1)オ） ■立場に分かれて話し合う。 ☆適切な資料を用意し、相手が納得する説明をする活動（特別活動）	【知・技】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。（(1)オ）	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（A(1)オ）	【態】積極的に互いの立場を明確にして、これまでの学習をいかして立場に分かれて話し合おうとしている。
新聞を読もう	2	新聞を読もう 2時間（読②） ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。（思・判・表C(1)ウ） ○文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。（思・判・表C(1)ア） ■新聞記事を読む。 ☆新聞記事等による情報収集（社会、総合的な学習の時間）	【知・技】文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。（C(1)ア） ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。（C(1)ウ）	【態】すすんで必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って新聞記事を読もうとしている。
文章に説得力をもたせるには	2	文章に説得力をもたせるには 2時間（書②） ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ■考えたことを伝え合う。	【知・技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ）	【思・判・表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（B(1)イ）	【態】積極的に筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
漢字の広場②	1	漢字の広場② 1時間（書①） ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）	【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ）	【態】すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書くようとしている。
たずねびと	6	たずねびと 6時間（読⑥） ◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。（思・判・表C(1)エ） ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ■考えたことを伝え合う。 ☆戦争や平和について考えさせるとともに、平和を願う心を養う題材（道徳） ☆紹介された本を選んで読む活動（図書館活用）	【知・技】比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（知・技(1)ク）	【思・判・表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（C(1)エ）	【態】粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。

漢字の広場③	1	漢字の広場③ 1時間（書①） ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）	【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ）	【態】すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
方言と共通語	2	方言と共通語 2時間（知・技②） ◎共通語と方言との違いを理解することができる。（知・技(3)ウ）	【知・技】共通語と方言との違いを理解している。（(3)ウ）		【態】すすんで方言と共通語の違いに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
秋の夕	1	秋の夕 1時間（書①） ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ■秋らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材（道徳）	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア）	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。（B(1)ア）	【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って秋らしいものや様子を文章に書こうとしている。
よりよい学校生活のために 【コラム】意見が対立したときには	6	よりよい学校生活のために 【コラム】意見が対立したときには 6時間（話・関⑥） ◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。（思・判・表A(1)ア） ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。（思・判・表A(1)オ） ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。（知・技(1)オ） ■身の回りの問題について、それぞれの立場から考えを伝えて話し合う。 ☆身近な問題に気づき、仲間と共に解決を図る学習（特別活動、社会、総合的な学習の時間） ☆ICT端末の機能を使って、出てきた考えを整理する活動（ICT活用）	【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。（(1)オ） ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（(2)イ）	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（A(1)オ）	【態】粘り強く互いの立場や意図を明確にしなが、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために話し合おうとしている。
浦島太郎——「御伽草子」より	1	浦島太郎——「御伽草子」より 1時間（知・技①） ◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。（知・技(3)イ） ○親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○時間の経過による言葉の変化に気づくことができる。（知・技(3)ウ） ■古典の文章を読み、知っている話と比べて思ったことを話す。 ☆二次元コードから朗読を視聴（ICT活用）	【知・技】 ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。（(3)イ） ・時間の経過による言葉の変化に気づいている。（(3)ウ）		【態】すすんで昔の人のものの見方や感じ方を知り、学習課題に沿って古典の文章について思ったことを話そうとしている。
和語・漢語・外来語	2	和語・漢語・外来語 2時間（知・技②） ◎語句の由来などに関心をもちとともに、世代による言葉の違いに気づくことができる。（知・技(3)ウ） ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ）	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・語句の由来などに関心をもちとともに、世代による言葉の違いに気づいている。（(3)ウ）		【態】すすんで和語・漢語・外来語などの由来に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。

固有種が教えてくれること 自然環境を守るために 【コラム】統計資料の読み方	10	固有種が教えてくれること 自然環境を守るために 【コラム】統計資料の読み方 10時間（書⑤、読⑤） ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)エ） ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つめたり、論の進め方について考えたりすることができる。（思・判・表C(1)ウ） ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することになる。（知・技(3)オ） ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえて、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。（思・判・表C(1)ア） ■筆者の説明のしかたの工夫について、考えをまとめて話し合ったり、統計資料を根拠にして意見文を書いたりする。 ☆図表・グラフ等と文章を関連させながら、説明されていることを読み取る活動（社会、算数、理科） ☆理由や根拠を明確にしながら自分の考えを記述する活動（社会、理科、家庭科） ☆固有種や環境について目を向けて考える題材（理科） ☆統計資料がある本を読む活動（図書館活用） ☆グラフや表の作成（ICT活用）	【知・技】 ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することになる。（(3)オ）	【思・判・表】 ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)エ） ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえて、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。（C(1)ア） ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つめたり、論の進め方について考えたりしている。（C(1)ウ）	【態】粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。
カンジー博士の暗号解説	2	カンジー博士の暗号解説 2時間（知・技②） ◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	【知・技】第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）		【態】すすんで漢字の読み方に関心をもち、これまでの学習をいかして漸次書こうとしている。
古典の世界（二）	1	古典の世界（二） 1時間（知・技①） ◎親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。（知・技(3)イ） ■漢文を音読する。 ☆国語に対する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材（道徳）	【知・技】 ・親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） ・作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。（(3)イ）		【態】すすんで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って漢文を音読しようとしている。
漢字の広場④	1	漢字の広場④ 1時間（書①） ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■示された言葉を使って、それぞれの県についての文を書く。	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）	【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ）	【態】すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
やなせたかし——アンパンマンの勇気	5	やなせたかし——アンパンマンの勇気 5時間（読⑤） ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することになる。（知・技(3)オ） ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表C(1)オ） ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ■伝記を読み、自分の生き方について考えたことを交流する。 ☆自分の郷土に目を向けさせる題材（総合的な学習の時間） ☆伝記の選書（図書館活用）	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することになる。（(3)オ）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。（C(1)イ） ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（C(1)オ）	【態】積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを交流しようとしている。

あなたは、どう考える	6	あなたは、どう考える 6時間（書⑥） ◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)カ） ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■意見文を書く。 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動（社会、総合的な学習の時間） ☆意見や理由とその根拠を説明する活動（社会、総合的な学習の時間） ☆ICT端末に文章構成の表を用意し、付箋機能を使い、文章の構成を考える活動（ICT活用）	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ）	【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（B(1)カ）	【態】積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって意見文を書くとしている。
冬の朝	1	冬の朝 1時間（書①） ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ■冬らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材（道徳）	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア）	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。（B(1)ア）	【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って冬らしいものや様子を文章に書こうとしている。
好きな詩のよさを伝えよう	2	好きな詩のよさを伝えよう 2時間（書①、読①） ○比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ■詩を紹介する文章を書く。 ☆詩集を読む活動（図書館利用）	【知・技】比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク）	【態】積極的に詩を読んでまとめた感想を共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。	【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。（B(1)ア） ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ）
言葉でスケッチ	2	言葉でスケッチ 2時間（書②） ◎目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ○比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ■情景が伝わるように書く。	【知・技】比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク）	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ）	【態】粘り強く自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習課題に沿って情景が伝わるように書こうとしている。
熟語の読み方	2	熟語の読み方 2時間（知・技②） ◎第5学年までに配当されている漢字を読むことができる。（知・技(1)エ）	【知・技】第5学年までに配当されている漢字を読んでいる。（(1)エ）		【態】すすんで熟語の読み方に興味をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。

漢字の広場⑤	1	漢字の広場⑤ 1時間（書①） ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■示された言葉やつなぎ言葉を使って、道順を案内する文を書く。	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ）		【態】すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
想像力のスイッチを入れよう	6	想像力のスイッチを入れよう 6時間（読⑥） ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表C(1)オ） ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ■メディアとの関わりについて考えを伝え合う。 ☆メディアとの関わり方について理解し、考えをもつ題材（総合的な学習の時間、日常生活）	【知・技】文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（C(1)オ） ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ）	【態】積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。
複合語	2	複合語 2時間（知・技②） ◎語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ）	【知・技】語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。（(1)オ）		【態】すすんで複合語の構成や変化について関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
言葉を使い分けよう	3	言葉を使い分けよう 3時間（知・技①、書②） ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■手紙を書く。	【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ）	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ）	【態】積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って手紙を書こうとしている。
もう一つの物語	6	もう一つの物語 6時間（書⑥） ◎話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ■別の物語に書き換える。	【知・技】話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ）	【思・判・表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（B(1)イ）	【態】粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書こうとしている。
「子ども未来科」で何をする	6	「子ども未来科」で何をする 6時間（話・聞⑥） ◎話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。（知・技(1)イ） ◎話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。（思・判・表A(1)イ） ○話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。（思・判・表A(1)ウ） ■提案するスピーチを行う。 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動（社会、総合的な学習の時間） ☆意見や理由と根拠を説明する活動（社会、総合的な学習の時間） ☆練習時のスピーチの録音・録画（ICT活用）	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。（(1)イ） ・話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解している。（(1)カ）	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。（A(1)イ） ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。（A(1)ウ）	【態】粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって提案するスピーチをしようとしている。

大造じいさんとガン	6	大造じいさんとガン 6時間（読⑥） ◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ○文章を音読したり朗読したりすることができる。（知・技(1)ケ） ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。（思・判・表C(1)エ） ■物語の魅力を伝える文章を書く。 ■物語の魅力が表れているところを朗読する。	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） ・文章を音読したり朗読したりしている。（(1)ケ）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（C(1)エ） ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ）	【態】積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力を伝え合おうとしている。
漢字の広場⑥	1	漢字の広場⑥ 1時間（書①） ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■示された言葉を使って、出来事を報道する文を書く。	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）	【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ）	【態】すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
五年生をふり返って	1	五年生をふり返って 1時間（書①） ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ■1年間の国語科での学びを振り返って、書く。	【知・技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（(1)ア）	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。（B(1)ア）	【態】すすんで考えたことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。

第5学年 国語(書写)

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習の進め方		学習の進め方 〔教科書巻頭〕 ◎学習の進め方を理解することができる。〔知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕			【態】積極的に(①)学習の進め方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)書写学習に取り組もうとしている(④)。
用具の準備／用具のかたづけ		用具の準備／用具のかたづけ〔教科書P2〕 ◎毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解することができる。〔知技(3)エ(イ)〕	【知】毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解している。	【思】毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を確かめている。	【態】積極的に(①)毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)適切に扱おうとしている(④)。
書くときのしせい		書くときのしせい〔教科書P3〕 ◎書くときの姿勢を正しくすることができる。〔知技(3)エ(イ)〕	【知】書くときの姿勢を正しくしている。 【思】書くときの正しい姿勢を確かめている。		【態】進んで(①)書くときの姿勢を確かめ(③)、学習課題に沿って(②)姿勢を正しくしようとしている(④)
筆の持ち方／タブレットを活用しよう		筆の持ち方／タブレットを活用しよう〔教科書P4-5〕 ◎筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。〔知技(3)エ(イ)〕	【知】筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。	【思】筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。	【態】進んで(①)筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめ(③)、学習課題に沿って(②)筆の持ち方を正しくしたり、タブレット端末を活用しようとしたりしている(④)。
部分の組み立て方①(によう)	4	部分の組み立て方①(によう) 〔教科書P6-7〕 ◎「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(イ)〕	【知】「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。	【思】毛筆で「道」を書写するなかで、「によう」をもつ漢字の組み立て方を確かめている。	【態】進んで(①)「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「によう」をもつ漢字を書こうとしている(④)。
部分の組み立て方②	1	部分の組み立て方② 〔教科書P8〕 ◎漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(イ)〕	【知】漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書いている。 【思】硬筆で漢字を書くなかで、漢字の部分の組み立て方を確かめている。		【態】積極的に(①)漢字の部分の組み立て方に注意して(③)、今までの学習を生かしながら(②)漢字を書こうとしている(④)
漢字のいろいろな書き方		〔もっと知りたい〕漢字のいろいろな書き方〔教科書P9〕 ◎速く書く場面で使ってもよい書き方を理解することができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)〕	【知】速く書く場面で使ってもよい書き方を理解している。	【思】例示された文字を書くなかで、速く書く場面で使ってもよい書き方を確かめている。	【態】進んで(①)速く書く場面で使ってもよい書き方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速く書く場合の書き方で書こうとしている(④)。
書くときの速さ	1	書くときの速さ 〔教科書P10〕 ◎場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)〕	【知】場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書いている。	【思】文字を書くときには、場面にふさわしい速さがあることを確かめている。	【態】積極的に(①)場面と書く速さの関係を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速さを意識して書こうとしている(④)。
書写広げたい①〈国語〉	1	書写広げたい①〈国語〉 〔教科書P11〕 ◎速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)〕 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。 〔A(1)ア、(2)イ〕	【知】速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書いている。	【思】インタビューメモを書く活動のなかで、すばやく書き留めるための方法を確かめている。	【態】積極的に(①)速く正確に書き留めるための方法を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速さを意識してインタビューメモを書こうとしている(④)。
手書きの力	1	手書きの力〔教科書P12〕 ◎手書き文字のもつ力やよさについて理解することができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ウ)〕	【知】手書き文字のもつ力やよさについて理解している。	【思】手書き文字のもつ力やよさについて考えている。	【態】進んで(①)手書き文字に興味をもち(③)、学習課題に沿って(②)壁新聞から受けた印象について話し合おうとしている(④)。
点画のつながりと字形	3	点画のつながりと字形 〔教科書P14-15〕 ◎点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。〔知技(3)エ(イ)〕	【知】点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。	【思】穂先の動きと点画のつながりを意識して「ふるさと」を毛筆で書写するなかで、点画のつながりと字形の関係を確かめている。	【態】積極的に(①)穂先の動きと点画のつながりを意識し(③)、学習課題に沿って(②)平仮名の言葉を書こうとしている(④)。

第5学年 国語(書写)

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
筆順と字形	3	筆順と字形〔教科書P16-17〕 ◎筆順と字形の関係を理解して書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(イ)〕	【知】筆順と字形の関係を理解して書いている。	【思】毛筆で「成長」を書写するなかで、画の始筆の付き方を確かめている。	【態】進んで(①)筆順と字形の関係を考え(③)、学習課題に沿って(②)画の始筆どうしが付く漢字を書こうとしている(④)。
ことば	1	ことば〔教科書P18-19〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】「竹取物語」をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)、「竹取物語」をなぞろうとしている(④)。
文字の大きさ(漢字と仮名)	3	文字の大きさ(漢字と仮名) 〔教科書P20-21〕 ◎漢字と仮名の大きさに注意して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	【知】漢字や仮名の大きさに注意して書いている。	【思】毛筆で「読む」を書写するなかで、漢字や仮名の大きさを確かめている。	【態】進んで(①)漢字や仮名の大きさに注意し(③)、学習課題に沿って(②)毛筆と硬筆で「読む」を書こうとしている(④)。
用紙に合った文字の大きさ	4	用紙に合った文字の大きさ 〔教科書P22-23〕 ◎用紙全体の大きさと文字数を考え、文字の大きさと配列を決めて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	【知】用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。	【思】毛筆で半紙に「飛行」を書写するなかで、半紙に対する文字の大きさや配置を工夫している。	【態】進んで(①)文字の大きさや配置について考え(③)、学習課題に沿って(②)いろいろな大きさの用紙にバランスよく書こうとしている(④)。
めざせ！新聞記者	2	めざせ！新聞記者 〔教科書P24-25〕 ◎漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(2)イ、(3)エ(ア)・(ウ)〕 ○事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。〔B(1)ウ・オ、(2)ア・ウ〕	【知】漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。	【思】新聞などを制作する活動のなかで、漢字や仮名の大きさ、配列、筆記具の使い分けなど、学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)漢字や仮名の大きさ、配列、筆記具の使い分けなどを工夫して(③)、学習課題に沿って(②)新聞などを読みやすく書こうとしている(④)。
書きぞめ	4	書きぞめ 〔教科書P26-29・P45-48〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。
五年生のまとめ①②	3	五年生のまとめ①② 〔教科書P30-33〕 ◎第5学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】毛筆で「近づく春」を書写するなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めためあてに沿った文字を書こうとしている(④)。
六年生を送る会に向けて	1	六年生を送る会に向けて 〔教科書P34〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。〔B(1)オ、(2)ウ〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】プログラムや寄せ書きなどを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)プログラムや寄せ書きなどを書こうとしている(④)。

第5学年 社会

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 世界の中の国土	5	我が国の国土の様子について、世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現することを通して、世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、我が国の国土の様子を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解している。	①世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、問いを見いだし、我が国の国土の様子について考え表現している	①我が国の国土の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
2. 国土の地形の特色	3	我が国の国土の様子について、国土の地形に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで国土の地形の様子を捉え、国土の地形の特色を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①国土の地形について、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の地形の様子を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、国土の地形の概要を理解している。	①国土の地形に着目して、問いを見いだし、国土の地形の様子について考え表現している。	①我が国の国土の地形の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
(選択単元)3. 低い土地の暮らし	5	我が国の国土の様子について、国土の地形に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで低い土地の自然などの様子や低い土地の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①国土の地形などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や低い土地の人々の生活を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、低い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。	①国土の地形などに着目して、問いを見いだし、国土の自然などの様子や低い土地の人々の生活について考え表現している。 ②我が国の位置や地形の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、低い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している	①低い土地の暮らしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
(選択単元)3. 高い土地の暮らし	5	我が国の国土の様子について、国土の地形に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで高い土地の自然などの様子や高い土地の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①国土の地形などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や高い土地の人々の生活を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、高い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。	①国土の地形などに着目して、問いを見いだし、国土の自然などの様子や高い土地の人々の生活について考え表現している。 ②我が国の位置や地形の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、高い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している	①高い土地の暮らしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
4. 国土の気候の特色	3	我が国の国土の様子について、国土の気候に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで国土の気候の様子を捉え、国土の気候の特色を考え、表現することを通して、我が国の国土の気候の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①国土の気候について、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の気候の様子を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、我が国の国土の気候の概要を理解している。	①国土の気候に着目して、問いを見いだし、国土の気候の様子について考え表現している。	①我が国の国土の気候の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして学習問題を追究し、解決しようとしている。
(選択単元)5. あたたかい土地	4	我が国の国土の様子について、国土の気候に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで寒い土地の自然などの様子や寒い土地の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の気候の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。		①国土の気候などに着目して、問いを見いだし、国土の自然などの様子や寒い土地の人々の生活について考え表現している。 ②我が国の位置や気候の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、寒い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している。	①寒い土地の暮らしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
(選択単元)5. 寒い土地の暮らし	4				
1. 暮らしを支える食料生産	5	我が国の農業や水産業における食料生産について、生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどについて地図帳や地球儀、各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の概要を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。	①身近な食料品の産地に着目して問いを見いだし、我が国の食料生産の概要について考え表現している。 ②生産物の種類や分布、生産量の変化、自然条件との関わりなどを総合して、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、適切に表現している。	①我が国の食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
2. 米づくりのさかんな地域	8	我が国の米の生産について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図や各種の資料などで調べ、まとめることで、米づくりに関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、我が国の米づくりに関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①米の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて、地図や各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、米づくりに関わる人々の工夫や努力を理解している。 ②調べたことを新聞にまとめ、米づくりに関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。	①米の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見いだし、米づくりに関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ②米づくりの仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて米づくりに関わる人々の働きを多角的に考え、適切に表現している。	①我が国の米の生産について、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

第5学年 社会

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3. 水産業のさかんな地域	7	我が国の水産業について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図や各種の資料で調べ、まとめることで、水産業に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、我が国の水産業に関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な水産物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①水産業の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、水産業に関わる人々の工夫や努力を理解 ②調べたことを図表や文などにまとめ、我が国の水産業に関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な水産物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。している。	①水産業の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見いだし、水産業に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ②水産業の仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて水産業に関わる人々の働きを考えたり、我が国の水産業の現状をふまえて、水産業の抱える課題を見いだしたりするとともに、これからの水産業の発展において大切なことについて、自らの考えを適切に表現している。	①我が国の水産業の様子について、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
4. これからの食料生産とわた	5	我が国の農業や水産業における食料生産について、食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安心・安全への取り組みなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで食料生産の課題を捉え、食の安心・安全の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとにこれからの農業などの発展について考えようとする態度を養う。	①食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安心・安全への取り組みなどについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、食の安心・安全の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解している。	①食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安心・安全への取り組みなどに着目して、問いを見いだし、食料生産の課題について考え表現している。 ②食料自給率と食生活の変化を関連付けたり、食料生産について学習してきたことを総合したりして食料生産の課題について考え、学習したことをもとに、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業や水産業の発展について考え表現している。	①これからの食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、これからの農業や水産業などの発展について考えようとしている。
1. くらしを支える工業生産	4	我が国の工業生産について、工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の概要を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。	①工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、問いを見いだし、工業生産の概要について考え表現している。	①工業生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
2. 自動車をつくる工業	7	我が国の自動車生産について、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで自動車生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①自動車の製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解している。	①自動車の製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問いを見いだし、自動車生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ②自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。	①自動車生産について、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
3. 工業生産を支える輸送と貿	5	我が国の工業生産について、輸送網(交通網)の広がり、外国との関わりなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現することを通して、貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①輸送網の広がり、外国との関わりなどについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、貿易や運輸の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。	①輸送網の広がり、外国との関わりなどに着目して、問いを見いだし、貿易や運輸の様子について考え表現している。 ②工業生産と貿易や運輸の働きを関連付けて貿易や運輸が工業生産に果たす役割を考え、適切に表現している。	①工業生産における貿易や運輸について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
4. これからの工業生産とわたしたち	5	我が国の工業生産について、伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで工業生産の課題を捉え、工業生産の発展と国民生活との関連を考え、表現することを通して、燃料や原材料の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとにこれからの工業の発展について考えようとする態度を養う。	①伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の課題を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、燃料や原材料の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解している。	①伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の課題を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、燃料や原材料の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解している。	①これからの工業生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、これからの工業の発展について考えようとしている。

第5学年 社会

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 情報産業とわたしたちのくらし	7	放送などの情報産業で働く人々について、情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、まとめることで放送などの情報産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、放送などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとにして、情報の受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えようとする態度を養う。	①放送などの情報産業で働く人々の情報を集め発信するまでの工夫や努力などについて聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、放送などの情報産業の様子について理解している。②調べたことを図表や文などにまとめ、放送などの情報産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解している。	①放送などの情報産業で働く人々の情報を集め発信するまでの工夫や努力に着目して、問いを見いだし、放送などの情報産業の様子について考え表現している。②放送局などから発信される情報と自分たちの生活に関連付けて、放送などの産業が国民生活に果たす役割を考えたり、学習したことをもとに情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え、受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えたりして表現している。	①放送などの産業と情報との関わりについて予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。②学習したことをもとに、情報の受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えようとしている。
2. 情報を生かす産業	5	我が国の産業と情報との関わりについて、情報の種類、情報の活用のしかたなどに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、まとめることで産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を多角的に考え、表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考えようとする態度を養う。	①情報の種類、情報の活用のしかたなどについて、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、産業における情報活用の現状を理解している。②調べたことを図表や文などにまとめ、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解している。	①情報の種類、情報の活用のしかたなどに着目して、問いを見いだし、産業における情報活用の現状について考え表現している。②情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上に関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、学習したことをもとに産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考え表現している。	①大量の情報や情報通信技術の活用について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
3. 情報を生かすわたしたち	3	情報活用のあり方について、情報の種類、情報の活用のしかたなどに着目して、各種の資料で調べ、まとめることで情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用のしかたを捉え、情報が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極める必要があることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①情報の種類、情報の活用のしかたなどについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用のしかたを理解している。②調べたことを図表や文などにまとめ、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極める必要があることを理解している。	①情報の使い方や情報活用に関連して起きている問題などに着目して、問いを見いだし、情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用のしかたについて考え表現している。②学習してきたことを総合して、情報活用のあり方について考え、表現している。	①情報活用のあり方について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。②学習したことをもとに、情報化の進展に伴う国民生活におけるよさや課題について考えようとしている。
1. 自然災害を防ぐ	7	我が国の国土の自然条件と国民生活について災害の種類や発生の位置や時間、防災対策などに着目して、地図や各種資料で調べ、まとめることで国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現することを通して、自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然災害の状況を理解している。□ ②調べたことを表や文にまとめ、自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。	①災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、問いを見いだし、国土の自然災害の状況について考え、表現している。②我が国で発生する様々な自然災害と国土の自然条件を関連付けて、国や県などの防災・減災に向けた対策や事業の役割を考え、表現している。	②我が国で発生する様々な自然災害と国土の自然条件を関連付けて、国や県などの防災・減災に向けた対策や事業の役割を考え、表現している。
2. わたしたちの生活と森林	6	我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、森林資源の分布や働きなどに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめることで国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現することを通して、森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。	①森林資源の分布や働きなどについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の環境を理解している。②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解している。	①森林資源の分布や働きなどに着目して、問いを見いだし、国土の環境について考え表現している。②我が国の国土における森林の分布と国民の生活舞台である国土の保全を関連付けて、森林資源が果たす役割を考えたり、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現している。	①森林資源の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。②学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている。
3. 環境を守るわたしたち	6	我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめることで公害防止の取り組みを捉え、その働きを考え、表現することを通して、関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。	①公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、公害防止の取り組みを理解している。②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解している。	①公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、問いを見いだし、国土の環境について考え表現している。②公害防止の取り組みと環境改善や人々の健康な生活を関連付けて、公害防止の取り組みの働きを考えたり、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現している。	①公害防止の取り組みについて、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。②学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている。

第5学年 算数

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで算数をはじめよう/ 2つに分けよう	2	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。		・形も面積も同じ(合同)になるように2等分するしかたについて、筋道を立てて考えたり表現したりしている。	・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。
1. 整数と小数	3	○整数及び小数の表し方を理解し、そのしくみについてまとめたり、数と式の表現や計算などに有効に生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)、A(2)イ(ア)】	・整数や小数の十進数としてのしくみを理解し、ある数の10倍、100倍、1000倍、1/10、1/100などの大きさの数を、小数点の位置を移して作ることができる。＜知・技＞	・整数と小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、数と式の表現や計算などに有効に生かしている。＜思・判・表＞	・整数や小数について、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
2. 体積	11	○立体図形の体積について理解し、直方体や立方体の体積の求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、体積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(4)ア(ア)(イ)、B(4)イ(ア)】	・体積の単位「cm ³ 、m ³ 」と測定の意味、単位の関係について理解し、直方体及び立方体の体積を公式を用いて求めることができる。＜知・技＞	・体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えているとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。＜思・判・表＞	・直方体や立方体の体積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
3. 2つの量の変わり方	6	○簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量の関係について表や式を用いて考察する力を身につける。また、その過程において、数量の変化や対応の関係について多面的に捉え検討して粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(ア)、A(6)イ(ア)、C(1)ア(ア)、C(1)イ(ア)】	・簡単な場合について比例の関係があることを知るとともに、数量の関係を表す式についての理解を深めている。＜知・技＞	・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目して表を用いて変化や対応の特徴を考察したり、対応や変わり方に着目して簡単な式で表されている関係について考察したりしている。＜思・判・表＞	・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
2000cm ³ を作ろう	1	①体積の公式について理解を深め、体積についての感覚を豊かにする。	・体積についての感覚をもち、2000cm ³ の立体の大きさについて、およその見当をつけることができる。	・2000を3つの数の積と捉え、縦、横、高さの3辺の長さの組み合わせを考えている。	
4. 小数のかけ算	10	○乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)、A(3)イ(ア)、A(6)ア(ア)】	・乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。＜知・技＞	・乗法の意味に着目し、乗数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・小数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
5. 合同と三角形、四角形	14	○図形の合同について理解し、図形間の関係を合同の観点で考察したり、合同な図形の構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、三角形や四角形などの内角の和の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明する力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)、内(2)】	・図形の形や大きさが決まる要素や、図形の合同について理解し、合同な図形を作図することができる。また、三角形の3つの角の大きさの和が180°になることや、四角形や多角形の内角の和は三角形に分ければ求められることを理解している。＜知・技＞	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。＜思・判・表＞	・図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
6. 小数のわり算	13	○除数が小数である場合の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)、A(3)イ(ア)】	・除数が小数である場合の除法の意味や、あまりの大きさについて理解し、小数の除法の計算ができる。また、小数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。＜知・技＞	・除法の意味に着目し、除数が小数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・小数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
ご石の数え方	1	①具体的な事柄を式に表したり、式に表されている関係をよみ取ったりして、式についての理解を深める。		・図や式から思考の筋道を考察し、図をよみ取って式に、式をよみ取って図に表現している。	
7. 整数の見方	11	○偶数と奇数、倍数、約数など整数の性質について理解し、観点を決めて整数を類別するしかたを考えたり、数の構成について考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、整数の性質に着目することのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)(イ)、A(1)イ(ア)、内(1)】	・整数は観点を決めると偶数と奇数に類別されることや、約数、倍数について理解し、それらを求めることができる。＜知・技＞	・乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別するしかたを考えたり、数の構成について考察したりしているとともに、日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・整数の性質や整数の構成を調べることにについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞

第5学年		算数	
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
8. 分数の大きさとたし算、ひき	9	○分数の意味と表し方について理解を深め、分数の相等や大小関係について考える力を身につけるとともに、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたについて、図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ウ)(エ)、A(4)イ(ア)、A(5)ア(ア)、A(5)イ(ア)】	・分数の分母、分子に同じ数を乗除してできる分数は、もとの分数と同じ大きさを表すことや、分数の相等及び大小について理解し、大小を比べることができる。また、異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。＜知・技＞ ・数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察している。また、分数の意味や表現に着目し、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞
9. 平均	7	○平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、平均を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(2)ア(ア)、D(2)イ(ア)】	・いくつかの数量を同じ大きさの数量にならすことで妥当な数値が得られる場合は、測定値を平均するといことを理解し、平均を求めることができる。＜知・技＞ ・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。＜思・判・表＞
奇数と偶数に分けて	1	①煩雑な計算を必要とする場面で、式や図に表してきまりを見つけて解決することをとおして、論理的な思考力を伸ばす。	・偶数と奇数の性質に着目し、きまりを見つけて効率よく問題を解決するしかたを考え、式や図などを用いて表現したりよみ取ったりしている。
10. 単位量あたりの大きさ	12	○異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味や表し方を理解するとともに、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】	・異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。＜思・判・表＞ ・異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
11. わり算と分数	6	○整数の除法の結果を分数で表すことを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができるとともに、分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(イ)、A(4)イ(イ)】	・整数の除法の結果は、分数を用いると常に1つの数として表すことができることを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。＜知・技＞ ・分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりしている。＜思・判・表＞
九九の表を調べよう	1	①九九表のきまりについて平均の学習などを活用して説明する活動をおして、論理的な思考力を伸ばす。	・九九表を調べてきまりを見つけ、そのきまりがほかの場合でも成り立つかを考えている。
12. 割合	12	○ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることや、百分率を用いた表し方を理解するとともに、その意味や求め方を図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(3)ア(ア)(イ)、C(3)イ(ア)、内(4)】	・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の割合との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。＜思・判・表＞ ・割合について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
13. 割合とグラフ	7	○帯グラフや円グラフ及び統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフに的確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)(イ)、D(1)イ(ア)、内(5)】	・円グラフや帯グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。また、データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。＜知・技＞ ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。＜思・判・表＞ ・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
四角形の関係を調べよう	1	①基本的な四角形の性質の相互関係を調べ、平面図形についての理解を深める。*	・基本的な四角形について、共通する性質を理解している。 ・四角形の共通する性質に着目して、既習の図形を捉え直している。

第5学年		算数	
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
14. 四角形や三角形の面積	16	○四角形や三角形の面積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、面積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)イ(ア)、B(3)ア(ア)、B(3)イ(ア)、C(1)ア(ア)】	・平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。＜知・技＞ ・図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。＜思・判・表＞ ・四角形や三角形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
15. 正多角形と円	11	○正多角形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、円周率について理解し、円周の長さや直径の長さの求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、それらの図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)イ(ア)、B(1)ア(ウ)(エ)、B(1)イ(ア)、C(1)ア(ア)、内(3)、指2(2)】	・円と関連させて正多角形の基本的な性質について理解し、正多角形を作図することができる。また、円周率の意味について理解し、円周の長さや直径の長さを求めることができる。＜知・技＞ ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。＜思・判・表＞ ・正多角形と円について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
16. 角柱と円柱	6	○角柱や円柱について理解し、図形の性質を見いだしたり、その性質をもとに既習の図形を捉え直したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、それらの図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(2)ア(ア)、B(2)イ(ア)】	・角柱や円柱について理解し、見取図や展開図を作図したり、展開図をもとに構成したりすることができる。＜知・技＞ ・図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。＜思・判・表＞ ・角柱や円柱について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
三角形に変身	1	①三角形の底辺と高さの関係をもとに、面積を変えずに四角形を三角形に変形できる理由を理解する。	・三角形の底辺と高さの関係をもとに、面積を変えずに四角形を三角形に変形できる理由を考えている。
算数を使って考えよう	2	①②知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。	・グラフを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論について多面的に考察したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。 ・日常の場面から算数の問題を見だし、割合などの学習を活用して解決したり、言葉や式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
5年のまとめ	2	①②第5学年の学習内容の問題を解決することができる。	・第5学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。 ・第5学年の学習内容について自らの学習状況を振り返り、それらが確実に身につくように粘り強く取り組もうとしている。

第5学年		理科			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1天気と情報1	9	雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	・天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 〈発言分析・記録分析〉	・天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	・天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ・天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
2生命のつながり1	11	発芽と成長の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の発芽、成長とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	・植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・植物の発芽について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	・植物の発芽について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・植物の成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・植物の成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	・植物の発芽についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ・植物の発芽と成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。〈行動観察・発言分析・記述分析〉
3生命のつながり2	8	魚を育てる中で、卵の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	・魚には雌雄があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・魚の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	・魚の発生や成長について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・魚の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	・魚の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ・魚の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
4天気と情報2	4	雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	・台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・天気の変化は映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・台風の進路は天気の変化の規則性が当てはまらないこと、また、台風がもたらす降雨は短時間に多量になることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	・台風が近づいたときの天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	・台風についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ・台風について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
5生命のつながり3	7	結実の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の結実とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	・植物の結実について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	・植物の結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	・植物の結実についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ・植物の結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

第5学年 理科

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6 流れる水のはたらきと土地の	12	流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・雨の降り方によって、流れる水の量や速さは変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉	・流れる水の働きと土地の変化について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	・流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ・流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
7 もののとけ方	12	物が水に溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら、物の溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	・物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・物が水に溶ける量には、限度があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・物の溶け方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・溶けている物を取り出すことができることを理解している。	・物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・物の溶け方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	・物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ・物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
8 ふりこの性質	9	振り子が1往復する時間に着目して、おもりの重さや振り子の長さなどの条件を制御しながら、振り子の運動の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	・振り子の運動の規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによって変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	・振り子の運動の規則性について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・振り子の運動の規則性について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	・振り子の運動の規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ・振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
9 電磁石の性質	11	電流の大きさや向き、コイルの巻数などに着目して、これらの条件を制御しながら、電流がつくる磁力を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	・電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・電磁石がつくる磁力について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	・電磁石がつくる磁力について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・電磁石がつくる磁力について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	・電流がつくる磁力についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ・電磁石がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

第5学年		理科			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10生命のつながり4	8	人の発生についての資料を活用する中で、胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	・人の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	・人の発生や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・人の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	・人の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ・人の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

第5学年 音楽

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈にっぽんのうた みんなのうた〉	2	(1)曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
1 和音や低音のはたらき	4	(1) 曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	○曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉	2	(1) 和音と旋律の関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	○和音と旋律との関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。	旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2 アンサンブルのみりよく(合唱)	6	(1) 曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだし聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。 (3) いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	○曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだし聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりしている。	いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3 アンサンブルのみりよく(オーケストラ)	3	(1) 曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉	1	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、強弱などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の歌曲に親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	旋律、強弱などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第5学年 音楽		単元の到達目標(小単元のねらい)			
単元名	時数			単元のまとりの評価規準	
				知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
4 パートの役わり	2	(1) 曲想と拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴にふさわしい表現をするにに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、フォルクローレの音楽に親しむ。	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲の特徴にふさわしい表現をするにに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
5 日本の音楽	4	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりする。 (3) 我が国の音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に	○曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。	我が国の音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
6 豊かな表現	4	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなどを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱曲や日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなどを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉	2	(1) 多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。 (3) 詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら	○多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて理解している。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。	詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付けている。	旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
7 音楽のききどころ	3	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 曲の特徴を見いだしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	曲の特徴を見いだしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第5学年 音楽		単元の到達目標(小単元のねらい)			単元のまとりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
8 思いをこめた表現 選択A 器楽	3	(1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。			○曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
8 思いをこめた表現 選択B 歌唱	3	(1) 曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。			○曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
〈音のスケッチ〉	2	(1) 反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、インターロッキングの音楽に親しむ。			○反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。	リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈変奏曲を楽しもう〉	3	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 旋律、音楽の縦と横との関係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、室内楽に親しむ。			曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。	旋律、音楽の縦と横との関係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第5学年 図画工作

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
季節を感じて	4	季節から感じたことを絵に表す。 ○表したいことが伝わるように、色使いや筆使いを工夫する ○季節を感じて、表したいことや表し方を考える。 ○季節を味わい、描くことをたのしむ。	○自分もった季節のイメージを絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさなどを理解している。 ○描画材料を適切に活用し、これまでの描画材料についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	○季節を感じて表したいことを見つけ、形や色、描画材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。 ○自分や友達作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	○つくりだす喜びを味わい、自分もった季節のイメージを絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
のぞくと広がる ひみつの景色	4	箱の中にそれぞれの世界がのぞけるようにつくり、互いの作品のよさを味わう。 ○表したいことに合わせて材料を選び、組み合わせを工夫する。 ○どんな秘密の景色にするか考える。 ○自分や友達作品のよさを味わう。	○「のぞき窓」から見ながら箱の中に自分の世界を工作に表すことを通して、形や色、奥行きなどを理解している。 ○さまざまな材料を適切に活用するとともに、これまでの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	○・表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。 ○自分や友達作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	○つくりだす喜びを味わい、「のぞき窓」から見ながら箱の中に自分の世界を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
ビー玉大ぼうけん	4	ビー玉が転がる面白いコースを考えてコースターをつくり、みんなで遊ぶ ○ビー玉の転がり方を試しながら、コースのつくり方を工夫する。 ○転がると面白いコースやしかけを考える。 ○友達と協力してつくることをたのしむ。	○コースのしかけによる玉の転がり方から、ものの動きやバランスを理解している。 ○玉の転がり方を試しながら、紙を折ったりつないだりしてコースのしかけのつくり方を工夫して表している。	○玉の転がり方をもとにしかけを思いつき、つくりたいコースのイメージをもちながらどのように表すか考えている。 ○作品で遊び、友達のコースの面白さやしかけの工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	○力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、コースターをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
線から生まれた わたしの世界	2	いろいろな線の描き方や重ね方を試し、表したいことを絵に表す。 ○線の描き方や組み合わせ方を工夫する。 ○線を描きながら表したいことを考える。 ○いろいろな線を描くことをたのしむ。	○いろいろな線を描くことを通して、線で表す形や色を理解している。 ○表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方などの表し方を工夫して表している。	○線を描きながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○線による表現のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	○思いのままに線で表す喜びを味わい、線で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
動きの形をつかまえよう	2	人の動きや形をとらえて絵に表す。 ○人の動きや形をとらえて、表し方を工夫する。 ○動きや形をどのように表すか考える。 ○いろいろな表し方で動きや形を描くことをたのしむ。	○人の動きを見たりそれを描いたりすることから、人の動きや形を理解している。 ○表したい形を表すために、材料や用具の特徴を生かして表し方を工夫して表している。	○動きや形から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○自分や友達作品のよさや特徴などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	○人の動きをとらえることをたのしみ、いろいろな表し方をして表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
ねん土で動きをハイ、ポーズ！	2	粘土で動き出しそうな人物を立体に表す。 ○ねじったりひねったりして、動きの出る表し方を工夫する。 ○動きの感じをとらえ、表したいポーズを考える。 ○粘土の触り心地を味わい、動きをたのしく表す。	○粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりすることから、立体で表す動きやバランスを理解している。 ○粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりするなどして、動きを表すために表し方を工夫して表している。	○人の動きやバランスなどから、自分のイメージをもって表したい動きを思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達作品から動きを表す造形的な美しさや表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	○粘土の触り心地を味わい、人の動きを粘土で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
べたんこねん土でつくってみると	2	板粘土をつくり、それを立たせたり丸めたりしながら表したいことを立体に表す。 ○べたんこ粘土でできる形のつくり方を工夫する。 ○不思議な形から、つくりたいものを考える。 ○べたんこ粘土からできる形の面白さをたのしむ。	○板粘土を巻いて丸めたり立てたりすることから、形の特徴を理解している。 ○切ったりひねったりつけたしたりするなどして、表したいものに合わせて立体的に表す表し方を工夫して表している。	○板粘土を巻いて丸めたり立てたりしてできた形をもとにイメージを広げ、表したい形を見つけ、どのように表すか考えている。 ○自分や友達作品の表し方のよさや面白さを味わいながら表現の特徴を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	○板粘土でできる形の変化のよさを味わい、粘土で形をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。

第5学年 図画工作

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
だんボールでためしてつくって	4	段ボールの特徴を生かして、切ったりはがしたり折り曲げたりして、立体に表す。 ○段ボールの折り曲げ方や切り方、組み合わせ方を工夫する。 ○段ボールの特徴から表したいものを考える。 ○段ボールをいろいろな形に変えて、つくることをたのしむ。	○段ボールを材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。 ○段ボールの特徴を生かし、カッターナイフなどの用具を活用しながら折り方や曲げ方、組み合わせなどを工夫して表している。	○段ボールの加工のしかたを試したり見つけたりして思いついたことをもとに表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。 ○段ボールの加工の工夫や作品のよさを互いに感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	○段ボールの特徴を生かしてつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
見つけてワイヤーワールド	6	針金の特徴を生かして、立体的に表す。 ○針金を曲げたり組み合わせたりして、つくり方を工夫する。 ○針金のできる形から、表したいことを考える。 ○針金のできる形を見つけたたりつくったりすることをたのしむ。	○針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解している。 ○針金の特性を生かし、ベンチや金づちなどの用具を活用しながら表し方を工夫して表している。	○針金を曲げたりつないだりすることからイメージを広げ、つくりたい形を考えている。 ○作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	○針金に手を加えながらつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
くるくる回して	6	クランクの仕組みを生かして、動くおもちゃをつくる。 ○形や色、動く仕組みづくりなどを工夫する。 ○揺れ棒の動きからおもちゃを考える。 ○繰り返しの動きの面白さをたのしむ。	○クランクの仕組みを使ったおもちゃづくりを通して、仕組みや材料の形や色などを理解している。 ○身近材料などを活用するとともに、これまでの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせるなどして、表し方を工夫して表している。	○動きやバランスをもとに、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことなどから表したいことを見つけて、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、どのように主題を表すか考えている。 ○自分や友達の仕事の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	○つくりだす喜びを味わい、クランクの仕組みを使って動くおもちゃをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
コロコロ ローラーダンス	2	ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しながら絵に表す。 ○ローラーを使った表し方を工夫する。 ○ローラーを使ってできた形や色から表したいことを考える。 ○ローラーを使っただのしく活動する。	○ローラーを使って表すことを通して、形や色、それらの組み合わせやバランス、色の鮮やかさなどを理解している。 ○ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫して表している。	○ローラーを使ってできた形や色から想像し、表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の仕事の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	○つくりだす喜びを味わい、ローラーで表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
重ねて広がる形と色	6	彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版画の技法で木版画に表す。 ○彫刻刀の使い方や刷る色などを工夫する。 ○彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考える。 ○彫りと刷りを繰り返して表すことをたのしむ。	○版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。 ○彫り進み版画の特徴を生かして、彫る形や重ねて刷る色など表し方を工夫して表している。	○彫りと刷りの繰り返しから想像を広げて表したいことを見つけて、どのように表現するか考えている。 ○自分や友達の仕事のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	○彫り進み版画の活動に関心をもち、彫りと刷りを繰り返して表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
進め！ 糸のこたん検隊	6	電動糸のこざりて板を自由に切り、切った形を組み合わせでつくる。 ○電動糸のこざりての使い方や板の組み合わせ方を工夫する。 ○切った板組み合わせながら、表したいことを考える。 ○電動糸のこざりてで板を切ることをたのしむ。	○板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。 ○電動糸のこざりての特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫して表している。	○形や色、バランスなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけて、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の仕事の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	○つくりだす喜びを味わい、板材を電動糸のこざりてで切り、板材を組み合わせでつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。

第5学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体ほぐしの運動	3	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができる。	・心と体の関係を理解し、友達と関わり合ったりするなどのねらいに応じた活動を選んでいる。 ・様々な運動を行って比較することで、気付きや関わり合いが深まりやすい運動を選んでいる。 ・運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したなどを学習カードに書き、振り返りの時間に発表している。	・体ほぐしの運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。
体の動きを高める運動	8	・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し、動きを工夫して体力を高める。	・体の動きを高める運動の行い方がわかる。 (ア) 体の柔らかさを高めるための運動 体の各部位の可動範囲を広げる体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (イ) 巧みな動きを高めるための運動 人や物の動き、または場所の広さや形状などの環境の変化に対応して、タイミングやバランスよく動いたり、リズムカルに動いたり、力の入れ方を加減したりする体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (ウ) 力強い動きを高めるための運動 自己の体重を利用したり、人や物などの抵抗に対してそれを動かしたりすることによって、力強い動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (エ) 動きを持続する能力を高めるための運動 一つの運動又は複数の運動を組み合わせて一定の時間続けて行ったり、一定の回数を反復して行ったりすることによって、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行う運動ができる。	・自己の体力の状況を知ったり、様々な動きを試したりすることを通して、体の動きを高めるためにどのような運動に取り組むとよいか、自己の課題を見付けている。 ・体の動きを高めるために、自己に合った運動の行い方を選んでいる。 ・どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け、それを生かした運動を工夫している。 ・グループで工夫した運動の行い方を、他のグループに例示して見せたり、言葉で伝えたりしている。 ・感想を伝える場面で、言葉のかけ方や並び方などの条件を工夫することで楽しく運動が行えたことを他者に説明している。	・体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。
マット運動	6	・できる技を安定して行ったり、できそうな技に挑戦したり、技を組み合わせたる。	・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返すことができる。 ・技を選んでそれらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり、ペアやグループで動きを組み合わせで演技をつくったりできる。 ○開脚前転 ○補助倒立前転（更なる発展技：倒立前転） ○伸膝後転 ○倒立ブリッジ ○ロンダート ○頭はね起き ○補助倒立	・マット運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・マット運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。
鉄棒運動	5	・できそうな技に挑戦したり、できる技を組み合わせたりして、鉄棒運動を楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりできる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 ○前方支持回転 ○片足踏み越し下り ○膝掛け上がり ○前方もも掛け回転 ○逆上がり ○後方支持回転 ○後方もも掛け回転 ○両膝掛け振動下り	・鉄棒運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

第5学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
跳び箱運動	6	・いろいろな技に挑戦し、安定した跳び方ができるようにする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ○かかえ込み跳び（更なる発展技：屈身跳び） ○伸膝台上前転 ○頭はね跳び（更なる発展技：前方屈腕倒立回転跳び）	・跳び箱運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。
短距離走・リレー	5	・素早いスタートからいろいろな短距離走をしたり、みんなの力を生かす作戦を工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。	・短距離走やリレーの行い方がわかる。 ・スタンディングスタートから、素早く走り始めることができる。 ・体を軽く前傾させて全力で走ることができる。 ・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをすることができる。	・短距離走やリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・短距離走・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・短距離走やリレーに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・短距離走やリレーの場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。
ハードル走	6	・ハードルの間を3歩のリズムで調子よく走り越して、記録に挑戦したり競走したりする。	・ハードル走の行い方がわかる。 ・第1ハードルを決めた足で踏み切って走り越えることができる。 ・スタートから最後まで、体のバランスをとりながら真っ直ぐ走ることができる。 ・インターバルを3歩または5歩で走ることができる。	・ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・ハードル走に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ハードル走の場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。
走り幅跳び	5	・リズムカルな助走から力強く踏み切って遠くへ跳び、自分の記録に挑戦したり、走り幅跳びの競争をしたりする。	・走り幅跳びの行い方がわかる。 ・7～9歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・幅30～40cm程度の踏切りゾーンで力強く踏み切ることができる。 ・かがみ跳びから両足で着地することができる。	・走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り幅跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・走り幅跳びに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り幅跳びの場を整備したりするなど、用具の安全に気を配っている。

第5学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水泳運動	8	・安全確保に繋がる動きができるようになる。平泳ぎやクロールで長く泳げるようになる。	【クロール】 ・クロールの行い方がわかる。 ・手を左右交互に前方に伸ばして水に入れ、水を大きくかくことができる。 ・柔らかに足を交互に曲げたり伸ばしたりして、リズムカルなばた足をする事ができる。 ・肩のローリングを用い、体を左右に傾けながら顔を横に上げて呼吸をすることができる。 ・左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐことができる。 【平泳ぎ】 ・平泳ぎの行い方がわかる。 ・両手を前方に伸ばし、ひじを曲げながら円を描くように左右に開き、水をかくことができる。 ・足の親指を外側に開いて左右の足の裏や脚の内側で水を挟み出すとともに、キックの後に伸びの姿勢を保つことができる。 ・手の動きに合わせて呼吸することができる。 ・キックをした勢いを利用してしばらく伸び、続けて長く泳ぐことができる。 【安全確保につながる運動】 ・安全確保につながる運動の行い方がわかる。 ・顔以外の部位がしっかりと水中に入った背浮きの姿勢を維持することができる。 ・大きく息を吸ってだるま浮きをした状態で、仲間に背中を押して沈めてもらい、息を止めてじっとして水面に浮上する浮き沈みを続けることができる ・タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続け	・学習カードや掲示物などを活用して、水泳運動のポイントと自分や仲間の動きを照らし合わせ、課題を見付けている。 ・クロールや平泳ぎで進んだ距離や、浮き沈みの回数、背浮きの時間などを自分で決めて挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に応じた練習の場や仕方を選んでいる。 ・自分で選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり、決まった距離でのストローク数に挑戦したりするなど、自分や友達の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・ペアやグループで互いの動きを見合ったり、練習の補助をし合ったりすることを通して、見付けたポイントやお互いの課題に適した練習方法を伝えている。 ・友達とお互いの動きのよさを確かめ合ったり称賛し合ったりしている。	・水泳運動が自己保全のために必要であることを生かし、クロールや平泳ぎをしたり、背浮きや浮き沈みをしたりするなどの水泳運動に積極的に取り組んでいる。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合っている。 - ウ 水泳運動で使用する用具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子を確かめてから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。
ゴール型(フラッグフットボール)	7	・作戦を基に、攻め方や動き方を工夫して、フラッグフットボールをする。	・フラッグフットボールの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてタッチダウンすることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。	・誰もが楽しくフラッグフットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・フラッグフットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。
ベースボール型(ソフトボール)	7	・攻め方や守り方を工夫して、ソフトボールをする。	・ソフトボールの行い方がわかる。 ・止まったボールや易しく投げられたボールをバットでフェアグラウンド内に打つことができる。 ・打球方向に移動し、捕球することができる。 ・捕球する相手に向かって、投げることができる。 ・塁間を全力で走塁することができる。 ・守備の隊形をとって得点を与えないようにすることができる。	・誰もが楽しくソフトボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・ソフトボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

第5学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゴール型(シートバスケットボール)	7	・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して、シートバスケットボールをする。	・シートバスケットボールの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどをすることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。	・誰もが楽しくシートバスケットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・シートバスケットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。
表現運動・はげしく〇〇する！	6	・生活や自然の中から、激しい感じや急変する感じなどの題材を見つけ、表したいイメージを感じを込めて踊る。	・表現「はげしく〇〇する」の行い方がわかる。 ・表現「はげしく〇〇する」のいろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。 ・題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え、そこに感情の変化や起伏を重ねていくことができる。 ・表したい感じやイメージを、素早く走る一急に止まる、ねじる一回る、跳ぶ一転がるなどの動きで変化を付けたり繰り返したりして、激しい感じや急変する感じをメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。	・表現「はげしく〇〇する」のポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいく。 ・表現したい「イメージを強調する」ために、差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいく。 ・表現したい「イメージを伝える」ために、一番盛り上げたい場面を明確にし、急変する場面や取り入れる群の動きを選んでいく。 ・表したい感じやイメージが表現され、踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいく。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。	・表現「はげしく〇〇する」の表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組んでいる。 ・表現に取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合っている。 ・表現にグループで取り組む際に、仲間と助け合っている。 ・表現を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。
フォークダンス・日本の民踊	3	・「阿波踊り」「ソーラン節」「春駒」など、日本の踊りの特徴を捉えてみんなで踊る。	・日本の民踊の行い方がわかる。 ・日本の民踊の特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。 ・日本の民踊に共通する特徴やそれぞれの踊り方の特徴を捉え、構成された基本的な踊り方を身に付けて踊ることができる。 ・阿波踊り(徳島県)や春駒(岐阜県)などの軽快なリズムの踊りでは、軽快な足さばきや手振りや踊ることができる。 ・ソーラン節(北海道)の力強い踊りでは、低く踏みしめるような足取りや腰の動きで踊ることができる。	・日本の民踊のポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいく。 ・踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいく。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。 ・ペアのグループやクラス全体で踊り、日本の民踊で身に付けた踊りの特徴が出ているかを伝えている。	・日本の民踊で交流したりする運動に積極的に取り組んでいる。 ・日本の民踊に取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合っている。 ・日本の民踊にグループで取り組む際に、仲間と助け合っている。 ・日本の民踊を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・踊る場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。
心の発達	2	・心は、人との関わり、あるいは自然とのふれあいなど、様々な生活経験や学習を通して、年齢とともに発達することを理解できるようにする。 ・心の発達について、自己の経験と学習したことを関連付けて、よりよく発達させる適切な方法を考えることができるようにする。 ・心の発達について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・心は、感情、社会性、思考力など様々なはたらきの総体として捉えることができることがわかる。 ・心は多くの人との関わりや自然とのふれあいなど様々な生活経験や学習を通して、年齢に伴って発達することがわかる。 ・心が発達することで、自分の感情をコントロールしたり、相手の気持ちや立場を理解したりすることができるようになることや筋道を立てて考えたりすることができるようになることがわかる。	・心はどのように成り立っているのかを調べたり、心は体のどこにあるのかを考えたりして、説明している。 ・心(感情、社会性、思考力など)は、どのように発達してきたのか、小さいころの自分と比べて考え、説明している。 ・自分の心はどんなことを通して発達してきたのか、自分の経験を振り返って人との関わりなどから考え、他者に伝えている。 ・よりよく心を発達させるための自己の課題を見付け、これからどんなことがしてみたいかを考えている。	・心の成り立ちやそのはたらきに関心をもち、心が自分の小さいころと比べてどのように変わってきたか、すすんで小さいころを思い出して比較しようとしている。 ・自分の感情をコントロールしたり、相手の気持ちや立場を理解したり、自分の気持ちをうまく相手に伝えたりして、心をより豊かにしていこうとしている。 ・自己の気持ちを上手に伝えられるようになるうとするなど、他者よりよいコミュニケーションを取れるようになるうとしている。

第5学年 体育		単元の名			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
心と体の関わり	2	・心と体の関わりを知り、心と体は深く影響し合っていることを理解できるようにする。 ・心と体の関わりについて、自己の経験と学習したことを関連付けて考えることができるようにする。 ・心と体の関わりについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・不安や緊張時には、動悸が激しくなったり、腹痛を起こしたりすること、体調が悪いときには、集中できなかったり、落ち込んだ気持ちになったりすること、体調がよいときには、気持ちが明るくなったり、集中できるようになったりすることなど、心と体は深く影響し合っていることがわかる。	・緊張したときや、うれしいときに体の状態がどうなるかを考え、説明している。 ・睡眠不足や適切な運動をしたときに心の状態がどうなるかを考え、説明している。 ・心と体はどのようにつながっているのかを調べ、発表している。 ・自分のふだんの生活の中で、心と体が影響し合っていると思うことについて考え、記している。	・心配事があったときや緊張したときの体調の変化や、体の調子が悪かったとき・よかったときの心の状態を、自分の経験に照らし合わせて具体的に思い出そうとしている。
不安やなやみなどへの対処	2	・不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることを知り、呼吸法などの対処のしかたをできるようにする。 ・不安や悩みに対処する様々な方法を考え、学習したことを活用して、適切な方法を選ぶことができるようにする。 ・不安や悩みの対処法をすすんで考え、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・不安や悩みがあるということは誰もが経験することであり、そうした場合には、家族や先生、友達などと話したり、相談したりすること、仲間と遊ぶこと、運動をしたり音楽を聴いたりすること、呼吸法を行うことなどによって気持ちを楽にしたり、気分を変えたりするなど様々な方法があり、自分に合った適切な方法で対処できることを理解している。 ・自己の心に不安や悩みがあるという状態に気付くことや不安や悩みに対処するために様々な経験をするとは、心の発達のために大切であることを理解している。 ・不安や悩みへの対処として、体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法などを行うことができる。	・小学生の悩みにはどんなものがあり、どんなことについていちばん悩んでいるのかを調べ、他者に伝えている。 ・不安や悩みへの対処法にはどんなものがあるのかを話し合い、自分に合った適切な対処法はなにかを考え、選択している。 ・心や体の緊張を和らげるための深呼吸を試し、深呼吸する前と後ではどんな変化があるのかを説明している。	・いろいろな悩みの例に注目し、自分も同じような悩みはないか照らし合わせるなど、それぞれの項目に関心をよせている。 ・不安や悩みの対処の仕方に関心をもち、自分に合った対処の仕方をすすんで考えようとしている。
けがや事故の起こり方	2	・けがや事故は人の行動と周りの環境が原因で起こり、人の行動はそのときの心の状態や体の調子と関係していることを理解できるようにする。 ・けがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分け、説明できるようにする。 ・けがや事故が起こる原因について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・毎年多くの交通事故や水の事故が発生し、けがをする人や死亡する人が少なくないことがわかる。 ・けがや事故の多くは、人の行動と周りの環境が原因で起こっていることがわかる。 ・人の行動は、慌てていた、疲れていたなど、そのときの心の状態や体の調子とも関係していることがわかる。	・けがや事故は何が原因で起こるのか調べ、説明している。 ・学校生活でのけがは、いつどこで多く起こっているのかを知り、その理由を人の行動と環境から説明している。 ・様々な状況におけるけがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分けて考え、説明している。	・学校生活や日常の生活での事故やけがの原因に関心をもち、危険予測にすすんで取り組もうとしている。 ・事故やけがの起こり方の原則に照らし合わせて危険予測をし、いろいろな場面での事故やけがの具体的な原因をすすんで探ろうとしている。
学校や地域でのけがの防止	2	・学校や地域でのけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境を整えることが必要であることを、理解できるようにする。 ・自分のけがに関わる経験を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明できるようにする。 ・学校や地域でのけがの防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習に取り組むことができるようにする。	・学校や地域でのけがを防ぐには、ルールを守るとともに、危険を予測して、正しい判断をし、安全な行動をとることが大切であることがわかる。 ・学校や地域でのけがを防ぐには、危険な場所の点検や修理などを通して、安全な環境をつくることも必要であることがわかる。	・けがにつながる「かくれた危険」を見つけ、その理由を説明している。 ・どうすれば学校や地域でのけがを防ぐことができるのかを調べ、説明している。 ・ある場面にどんな危険が潜んでいるのか危険の予測をし、安全な行動の仕方を考え、記している。 ・学校や地域では危険を防ぐためにどのような安全な環境づくりが行われているのかを調べ、発表している。	・けがの防止の原則に関心をもち、学校生活で危険を予測した様々な場面について、すすんであてはめてみようとしている。 ・学校や地域、家庭における安全な環境づくりについて、どのような工夫や備えをしているのか、すすんで調べようとしている。
交通事故の防止	2	・交通事故の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境づくりが必要であることを、理解できるようにする。 ・自己の周囲の環境を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明できるようにする。 ・交通事故の防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・交通事故の防止には、学校や地域でのけがの防止と同じように、危険を予測し、正しい判断をして安全な行動をとることが大切であることがわかる。 ・交通事故を防止するために様々な環境づくりが行われていることがわかる。	・交通事故はどんな場所で、どんなときに起こりやすいのかを理解して、説明している。 ・ある場面における交通事故の危険を予測し、事故にあわないための安全な行動を考えて、記している。 ・交通事故を防ぐための安全な環境づくりとしてカーブミラーや横断禁止の標識をどこに設置すればよいのかを考え、その理由を説明している。 ・自分の家の近くや通学路で交通事故が起きそうな場所を思い浮かべて、交通事故を防ぐ安全な行動を考えて、その理由を書いている。	・危険を予測した場面の中から、交通事故に関連した危険な場面での行動の仕方について、けがの防止の原則にすすんであてはめてみようとしている。

第5学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
犯罪被害の防止	2	・犯罪被害にあわないためには、犯罪が起こりやすい場所を避けることや、犯罪に巻き込まれそうになったらすぐに助けを求めることが必要であることを理解できるようにする。 ・犯罪被害から身を守るために、危険を予測し、回避の方法を考えて、説明できるようにする。 ・犯罪被害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、積極的に取り組むことができるようにする。	・犯罪から身を守るには、犯罪被害にあいやすい場所を避けるなど、危険を予測し、安全な行動をとることが大切なことがわかる。 ・犯罪被害に巻き込まれそうになったら、すぐに逃げたり、大声で助けを求めたりすることが大切であることを理解している。 ・警察や地域の人々によって、危険な場所の点検などの活動を通して安全を守るための環境づくりが行われていることがわかる。	・小学生が誘拐や暴力などの犯罪被害にあいやすい場所がわかり、犯罪被害にあいやすい理由を考え、説明している。 ・様々な場面において犯罪被害にあうとどんな危険があるのかを予測し、犯罪被害にあわないための安全な行動の仕方を考えている。 ・犯罪被害を防ぐための安全な環境づくりにはどんなものがあるのかを調べ、他者に伝えている。	・自分たちが住んでいる地域において、犯罪被害にあいやすい場所はどこか、すすんで調べようとしている。 ・自分たちが住んでいる地域において、犯罪被害を防ぐためにどんな安全な環境づくりが行われているか、すすんで調べようとしている。
けがの手当	2	・自らできる簡単な手当には、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの方法があることを知り、手当ができるようにする。 ・自分のけがに関わる経験を振り返ったり、学習したことを活用したりして、けがの適切な手当の方法を考えたり、選んだりできるようにする。 ・けがの手当について、これまでの経験を振り返ったり、実習に取り組んだりして、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・けがをしたときには、けがの種類や程度などをできるだけ早く判断することが大切であることを理解している。 ・軽いけがのときはすばやく自分で手当をすることで、けがの悪化を防ぎ、治りも早くなることがわかる。 ・自分で手当ができない大きなけがのときや、自分で手当ができるかどうか判断がつかないときは、すぐに近くの大人に知らせることが大切であることを理解している。 ・自分でできる手当には、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、けがをしたところを冷やすなどの方法があることを知り、けがに合った適切な手当の仕方を選んで簡単な手当ができる。	・学校で起きやすいけがをグラフから読み取っている。 ・けがをしたり、けがをしている人を見たりしたときに、まず何をすればよいのかを調べ、発表したりしている。 ・手当の仕方の原則を知り、いろいろなけがの手当について他者に伝えている。	・自分が校庭でけがをしたときのことを想定して、どのように行動すればよいのかをすすんで考えている。

第5学年 家庭科

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
● ガイダンス	1	第4学年までの学習や生活を振り返る中で自分の成長を自覚するとともに、家庭科に関心を持ち、学ぶ内容や学び方、教科のねらいなどを理解し、見通しをもって2年間の学習に取り組もうとする意欲をもつ。	家庭科の目標や内容並びに家庭科の見方・考え方(家庭科の窓)や学び方を知り、これまでの自分の成長した点やそれを支えてきた家庭生活や家族の大切さに気付いている。		家族の一員として、生活をよりよくしようと、2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
1. 私の生活、大発見！	4	家庭の仕事について、家族との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、家族の一員として、家庭の仕事の計画を工夫することができる。	家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることを理解している。	家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
2. ゆでる調理でおいしさ発見	6	ゆでる調理について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、おいしく食べるための調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。	ゆでる調理の計画や調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。	おいしくゆでる調理の計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
3. ひと針に心をこめて	9	生活を豊かにするための布を用いた手ぬいの製作について、健康・快適・安全の視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、製作計画を考え、製作を工夫することができる。	手ぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
4. 持続可能な社会へ物やお金の使い方	6	物や金銭の使い方と買い物について、持続可能な社会の構築などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、消費者として、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫することができる。	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
5. 食べて元気！ご飯とみそ汁	10	食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。	食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し、適切にできる。	食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
6. 物を生かして住みやすく	7	気持ちのよい住まい方について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境や資源を大切にしたい物の使い方などを考え、工夫することができる。	住まいの整理・整頓や清掃の必要性や仕方について理解しているとともに、適切にできる。	住まいの整理・整頓や清掃の仕方や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
7. 気持ちがつながる家族の時間	2	家族との関わりについて、家族の協力などの視点から、課題をもって、家族とのふれ合いや団らんの大切さを理解し、よりよい関わりを考え、工夫することができる。	家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解している。	家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
● 生活を変えるチャンス！①	3	学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。		家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。
8. ミシンにトライ！手作り楽しい生活	11	生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、製作計画を考え、製作を工夫することができる。	ミシンぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
● 5年生のまとめ	1				

第5学年 外国語		単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
Lesson 1 Hello, everyone.	8	Hello, everyone. 友だちのことをもっと知ろう。 名前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 互いのことをよく知るために, 伝え合ったりすることができる。 道, 特, 総, キャリア	〈知識〉Hello. My name is ～., How do you spell your name?., What ～ do you like?., I like ～., What do you want?., I want ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。 〈技能〉名前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどについて, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 〈知識〉主な言語材料について理解している。 〈技能〉名前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどについて, 主な言語材料を用いて伝え合う技能を身に付けている。	互いのことをよく知るために, 名前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどを伝え合っている。
Lesson 2 When is your special day?	8	。When is your special day? クラスのスペシャル・カレンダーを作ろう。 相手のことをよく知るために, 誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなどについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 互いのことをよく知るために, 伝え合ったりすることができる。 SDGs, 社, 理, 特	〈知識〉My birthday [special day] is ～., When is your birthday [special day]?., It's ～., Do you like ～? 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。 〈技能〉誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなど, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 〈知識〉主な言語材料について理解している。 〈技能〉誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなどについて, 主な言語材料を用いて伝え合う技能を身に付けている。	相手のことをよく知るために, 誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなど, 具体的な情報を聞き取っている 互いのことをよく知るために, 誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなどを伝え合おうとしている。
Lesson 3 What do you have on Mondays?	2	What do you have on Mondays? 将来の夢をかかなえるための時間割を作ろう。 相手のことをよく知るために, 好きな教科や将来の夢のための時間割などについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたり, 自分のことをよく知ってもらうために, 自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。 キャリア, 道, 総, 特	〈知識〉What do you have on ～?, I [We] have ～ on ～., Do you have ～ on ～?, I like ～., I want to be ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。 〈技能〉好きな教科や将来の夢のための時間割などについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。 〈知識〉主な言語材料について理解している。 〈技能〉将来の夢の時間割について, 主な言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	相手のことを知るために, 好きな教科や将来の夢のための時間割などについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりしている。 自分のことをよく知ってもらうために, 将来の夢のための時間割について, 自分の考えや気持ちを含めて話している。
Questions 5年2組の仲間たち／Interview 先生と話をしよう。／世界のあいさつと文字	8	Questions: 5年2組の仲間たち 相手のことをよく知るために, 時間割や誕生日, 好きなものやもっているものなどについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりすることができる。また, 活字体の大文字を識別したり, 書いたりすることができる。 Let's Talk!: 先生と話をしよう。 互いのことをよく知るために, 誕生日や好きな教科などについて, 尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 世界のあいさつと文字 さまざまな言語の「ありがとう」を知ったり, さまざまな国の子どもたちの自己紹介を聞き取ったりする。	〈知識〉We have ～ on ～., My birthday is ～., I like[don't like] ～., I have [don't have] ～. 及びその関連語句について理解している。また, アルファベットの文字の読み方について理解している。 〈技能〉時間割や誕生日, 好きなものやもっているものなどについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。また, 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に, どの文字であるかがわかる技能を身に付けている。 〈知識〉活字体で書かれた大文字について理解している。 〈技能〉活字体で書かれた大文字を識別し, その読み方がわかるために必要な技能を身に付けている。 〈知識〉活字体の大文字について理解している。 〈技能〉大文字を活字体で書く技能を身に付けている。 〈知識〉これまでに学習した言語材料について理解している。 〈技能〉誕生日や好きな教科などを表す語句や表現を用いて, 伝え合う技能を身に付けている。 〈知識〉これまでに学習した言語材料について理解している。 〈技能〉誕生日や好きな教科などを表す語句や表現を用いて, 伝え合う技能を身に付けている。	相手のことをよく知るために, 好きなものやもっているもの, 誕生日などについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりしている。 互いのことをよく知るために, 誕生日や好きな教科などについて, 尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

第5学年		外国語	
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
Lesson 4 I can draw pictures well.	8	I can draw pictures well. もっと自分を知ってもらおう。 相手のことをよく知るために、できること、できないことについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたり、自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを含めて話したり、例文を参考に書いたりすることができる。 SDGs, 理, 特, 音, 体, 図	〈知識〉できること、できないことに関する語句やI [You / He / She] can [can't] ～., Can you ～? 及びその関連語句(以下、主な言語材料)などについて理解している。 〈技能〉できること、できないことなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。 〈知識〉主な言語材料について理解している。 〈技能〉自分や相手、第三者ができること、できないことなどについて、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 〈知識〉主な言語材料について理解している。 〈技能〉自分や第三者のできること、できないことなどについて、主な言語材料を用いて書く技能を身に付けている。
Lesson 5 Where is the station?	8	Where is the station? マイタウンを作って案内しよう。 相手のことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取ったり、互いのことをよく知るために、道順やお気に入りの理由などを伝え合ったりすることができる。 社, 道, 総, 情報, キャリア	〈知識〉Where is ～?, Go straight for ～ block(s)., Turn right [left]., You can see it on your right [left]., It's on [in / under / by] ～., We have ～ in our town., What is your favorite place?, My favorite place is [It's] ～. 及びその関連語句(以下、主な言語材料)などについて理解している。 〈技能〉地域のお気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 〈知識〉主な言語材料について理解している。 〈技能〉地域のお気に入りの場所について、主な言語材料を用いて、道
Lesson 6 What would you like?	2	What would you like? ランチメニューを考えて注文しよう。 レストランなどで注文するという目的に応じて、料理やその値段、味などについて、具体的な情報を聞き取ったり、丁寧な言い方で伝え合ったりすることができる。 社, 家, 総	〈知識〉What would you like?, I'd like ～., How much is it?, It's ～ yen., It's ～. 及びその関連語句(以下、主な言語材料)などについて理解している。 〈技能〉料理やその値段、味などについて、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 〈知識〉主な言語材料について理解している。 〈技能〉料理やその値段、味などについて、主な言語材料を用いて、丁寧な言い方で伝え合う技能を身に付けている。
Questions 太陽小学校の先生たち／Interview 先生と話をしよう。／いろいろな標識	8	Questions: 太陽小学校の先生たち 相手のことをよく知るために、できることやできないことなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりすることができる。また、レストランで注文するという場面に応じて、短い話を聞いて概要を捉えることができる。また、活字体で書かれた小文字を識別し、読み方がわかったり、書いたりすることができる。 Let's Talk!: 先生と話をしよう。 互いのことをよく知るために、できることや好きなもの、住んでいる町のことなどについて、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。	〈知識〉I can[can't] ～., Can you ～?, What would you like?, I'd like ～. 及びその関連語句について理解している。また、アルファベットの文字の読み方について理解している。 〈技能〉できることやできないこと、レストランでの注文について、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。 〈知識〉活字体で書かれた小文字について理解している。 〈技能〉活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方がわかるために必要な技能を身に付けている。 〈知識〉活字体の小文字について理解している。 〈技能〉小文字を活字体で書く技能を身に付けている。 〈知識〉これまでに学習した言語材料について理解している。 〈技能〉自分や相手のことなどについて、これまでに学習した言語材料を用いて、尋ねたり答えたりして伝え合う技能を身に付けている。
Lesson 7 I love my town.	8	I love my town. 「町のすてきなところ」をしようかしよう。 自分たちの住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所について、自分の考えや気持ちなどを含めて話したり、例文を参考に書いたりすることができる。また、地域について書かれたものを読んで意味がわかる。 キャリア, SDGs, 総, 社	〈知識〉My favorite place is ～., We have ～., We can enjoy ～., It's ～. 及びその関連語句(以下、主な言語材料)などについて理解している。 〈技能〉自分たちが住む地域について書かれたものを読んで意味がわかるために必要な技能を身に付けている。 〈知識〉主な言語材料について理解している。 〈技能〉自分たちが住む地域について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 〈知識〉主な言語材料について理解している。 〈技能〉自分たちが住む地域について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて書く技能を身に付けている。

第5学年 外国語		単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	
			思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Lesson 8 My Hero	2	My Hero クラスのみんなの「ヒーロー図かん」を作ろう。 互いの憧れの人や尊敬する人についてよく知ったり知ってもらったりするために、得意なことやできること、人柄などについて、短い話を聞いて概要を捉えたり、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。また、例文を参考に書いたりすることができる。 国、社、道、総、特、キャリア	〈知識〉Who is your hero?, My hero is ～., He [She] is ～., He [She] is good at ～., He [She] is ～ 及びその関連語句(以下、主な言語材料)などについて理解している。 〈技能〉憧れる人や尊敬する人が得意なことやできること、人柄などについて、短い話を聞いて概要を捉える技能を身に付けている。 〈知識〉主な言語材料について理解している。 〈技能〉憧れる人や尊敬する人が得意なことやできることなどについて、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 〈知識〉主な言語材料について理解している。 〈技能〉憧れる人や尊敬する人について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて書く技能を身に付けている。	相手や相手の憧れる人や尊敬する人のことをよく知るために、その人が得意なことやできること、人柄などについて、短い話を聞いて概要を捉えている。 憧れる人や尊敬する人のことをよく知ってもらうために、その人が得意なことやできることなどについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。 憧れる人や尊敬する人についてよく知ってもらうために、その人が得意なことやできること、人柄などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて書いている。
Questions ミーナ先生、ありがとう／Interview 先生と話をしよう。／いろいろなスポーツ	1	Questions:ミーナ先生、ありがとう 相手のことをよく知るために、地域でできることやその様子、尊敬する人の得意なことや好きなことなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、話の概要を捉えたりすることができる。また、活字体の大文字と小文字を書くことができる。 Let's Talk!:先生と話をしよう。 互いのことをよく知るために、得意なことや自分の住む町などについて、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 いろいろなスポーツ	〈知識〉We have ～ in ～., He[She] is good at ～., He[She] can ～., What would you like?, I'd like ～. 及びその関連語句について理解している。 〈技能〉地域や憧れる人、尊敬する人や注文などについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。 〈知識〉活字体の大文字・小文字について理解している。 〈技能〉大文字・小文字を活字体で書く技能を身に付けている。 〈知識〉これまでに学習した言語材料について理解している。 〈技能〉自分や相手のことなどについて、これまでに学習した言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて伝え合う技能を身に付け	相手のことをよく知るために、相手が憧れる人や尊敬する人の得意なことやできることなどについて、短い話を聞いて概要を捉えている。 互いのことをよく知るために、得意なことや自分の住む町などについて、尋ねたり答えたりして伝え合っている。

第5学年		総合的な学習の時間			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
お米博士になろう！	20	「米」に関する課題を設定し、パソコンや図書などを有効に使い、「米」について調べることができる。そして、調べたことを分かりやすくまとめたり、発表したりする。	○本やインターネットを用い、課題を解決する調べ学習ができる。	○聞き手を意識して、発表をまとめ、表現することができる。 ○米のよさや大切さ、食生活の課題などを相手に伝えるために発表方法を考え工夫し、効果的な表現をして	○他者の発表や自分の学習をふり返、の学習をふり返り、さまざまな食生活や食文化に気付き、自分ができることを考え実践しようとする。
他者理解 ～はこべ学級との交流～	15	探求的な活動を通して、他者に対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○障害について考えることで、自分を含め周りには様々な特徴や性格をもつ人がいることを理解している。	○障害について考えることで、自分にできることは何かを考えている。	○はこべとの交流会で目的意識をもって活動している。

第5学年 特別活動

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級の目標を決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
楽しい運動会にしよう	3	高学年としての自覚をもち、運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	高学年としての自覚をもち、運動会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、運動会を通して成長する上での課題に気づき、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
雨の日の過ごし方	3	高学年としての自覚をもち、天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	高学年としての自覚をもち、安全に日常の生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、安全に日常生活をおくる上での課題に気づき、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
1学期を振り返ろう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを振り返ろう (夏休みの計画を立てよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★篠三まつりを成功させよう	3	高学年としての自覚をもち、篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	高学年としての自覚をもち、篠三まつりを通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、篠三まつりを通して成長する上での課題に気づき、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、篠三まつりに向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
★学習発表会を成功させよう	6	高学年としての自覚をもち、学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	高学年としての自覚をもち、学習発表会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、学習発表会を通して成長する上での課題に気づき、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
2学期のめあてを振り返る (冬休みの計画を立てよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
充実したウィンタースクールにしよう	1	高学年としての自覚をもち、ウィンタースクールを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	高学年としての自覚をもち、ウィンタースクールを通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、ウィンタースクールを通して成長する上での課題に気づき、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、ウィンタースクールに向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
3学期のめあてを決めよう (冬休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

ウィンタースクールを振り返ろう	1	高学年としての自覚をもち、行事を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	高学年としての自覚をもち、行事を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、行事を通して成長する上での課題に気づき、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、行事に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	2	高学年としての自覚をもち、天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	高学年としての自覚をもち、安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、安全に日常生活をおくる上での課題に気づき、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
すてきな最高学年を目指そう (春休みの計画を立てよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合っ意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

第5学年 読書科

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2年生に読み聞かせをしよう 新聞を読もう 調べる名人になろう	12	○動物が出てくる物語を選び、2年生の実態に合った本を選ぶことができる。 ○読み聞かせを通して、読書の良さを実感することができる。 ○見出しを比べて新聞を読むことができる。	○読み聞かせした本の内容について感想を交流できることを理解する。 ○見出しや記事の書き方に注目して新聞を読むことができる。	○動物に関わる様々な事象を自分の考えや経験等と関連付け、問題を見つけている。 ○事実と意見に分けて記事を読んだり書いたりしている。	○2年生に合う本を、すすんで選び読もうとしている。 ○すすんで新聞記事を比べて読もうとしている。
日本調査隊 椋鳩十の本を紹介しよう	15	○自分が行きたい県を選んで特色を紹介することができる。 ○椋鳩十の作品を読み、自分と自然とのかかわりについて考えることができる。 ○自分の選んだ作品のよさを友達に伝えることができる。	○問題解決のために、図書資料を読み、必要な情報を引用したり要約したりして書き出している。 ○優れた情景描写や叙述について整理することができる。	○問題解決のために、収集した資料を整理・分析している。 ○椋鳩十の作品の魅力について、自分の考えたことをわかりやすく伝えようとしている。	○問題解決のために探した本をすすんで読ようとしている。 ○すすんで本を読み、椋鳩十の作品のよさを知らうとしている。 ○自分と自然とのかかわりについて知り、自身の人生に生かそうと、主体的に学んでいこうとしている。
ビブリオバトルをしよう 金子みすゞの本を読もう	8	○これまでの読書経験から、友達におすすめの本を紹介することができる。	○紹介する本について、必要な情報を抜き出し、記録する。	○自分の考えを分かりやすくまとめ、友達に表現している。	○読書の良さを理解し、友達と関わり合いながら主体的に学ぼうとしている。